

# かみとんだ

2022.9  
No.179

# 議会だより



●一般質問 ……………P2～7

●わたしはこう判断 /  
いろいろやってます ……………P8

●委員会レポート / 町内視察  
……………P9

●北海道清水町より行政視察に  
……………P10

●インタビュー / 編集後記  
…………ウラ面

発行／和歌山県上富田町議会 編集／議会広報特別委員会  
〒649-2192 和歌山県西牟婁郡上富田町朝来763  
TEL(0739)47-0550 FAX(0739)47-5959

撮影場所：市ノ瀬バンダ淵



# 谷 端 清 議員

1. 南紀の台パブリック地域のコミュニティセンターの建築について
2. 上富田町の公園等の整備について
3. 町内会館について



YouTube QR コード

暮らしやすい  
街づくり

## 南紀の台パブリック地域の コミュニティセンターの建築について

**問** 建設現場の場所は。

**答** 建築場所については、地元企業が町に寄贈していた土地や他の町有地を候補地としまして、5月には南紀の台パブリック両町内会の役員を含めて協議を進めております。

その後、ほかの土地も視野に入れながらその調査を行い、今進めておる状況でございます。6月に入ってからですが、両町内会長と町のほうで協議を行いまして、建設の候補地について、まだ決定されたわけではございませんが、ある程度、方向性を出してきている状況でございます。

**問** 来年度に向けて、建設の意向はあるか。

**答** 今年度の予算で、建築する方向で予算はつけていますけれども、それがまだ位置が決定していないので、早急に建築をしていきたいと考えております。

## 上富田町の公園等の整備について

**問** 上富田町の公園の場所は何か所あるか。

**答** 町全体ですと14か所です。この地区別ですと、朝来地区が7か所、南紀の台地区が1か所、生馬地区が2か所、岩田地区が2か所、最後に市ノ瀬地区が2か所というふうになっております。

**問** 岡地域には公園がないということなので、今後、公園整備が必要と思うが。

**答** 公園は地域住民の憩いと交流の場として重要な役割を果たしております。今後、岡地区への公園の設置に向け、場所や規模なども含め検討していく必要があると考えております。

### 町長

岡地区の公園の件ですけれども、子育て世帯の多くのお母さん方が、岡のほうに公園を造ってほしいよという要望がたくさん寄せられております。

また、その後も手紙を送ってくれて意見やとかいろんな要望も私のほうにもいただいておりますので、岡地区の職員に対しては、候補地等の研究をするよという指示はしています。

### 問

パブリック地域ですけれども、町道で子供たちがよく遊んでいるのを見かけ、非常に危険だと思っております。パブリックの町所有地を広場としていく考えがあるのか。

### 答

南紀の台地区、特にパブリック町内会には子育て世帯の家庭が年々増加しており、近くに広場のような公園がありません。先ほどの質問にもありましたように、コミュニティセンターの建築場所との関連もありますが、そういった場所が確保できるかも含め、これも検討していきたいというふうに考えております。

※その他、「町内会館について」も質問をしています。



【質問方式】 一問一答

【答弁者】 町長・教育委員会事務局長・振興課長



# 山本 哲也 議員

コロナ差別や偏見  
を許さない!

## 1. 新型コロナウイルス罹患者の 対応と風評被害への対策について



YouTube QR コード

### 新型コロナウイルス罹患者の対応と風評被害への 対策について

**問** 感染した自宅療養者に食料や生活必需品等を届ける  
町独自の施策が必要ではないか。

**答** 町が実施主体であるワクチン接種に重点を置き、自  
宅療養、待機者への独自支援の実施は、現在のところ  
行う予定はない。

しかし、今後、爆発的な感染拡大が起こり、保健所の対  
応だけでは困難となったときには、町独自の支援について  
も検討していく。

**問** コロナ禍においてもいつ起こるか分からない災害時  
において、自宅療養者や濃厚接触者の皆様はどのよう  
に避難を行うのか。

**答** 自宅療養者については保健センターを避難所として  
開設することで考えている。濃厚接触者の方につい  
ては一般の避難者の方との接触をできるだけ避ける必要が  
あると考えている。具体的には、別室ですとかトイレを分  
ける等の対応が必要だと考えている。

**問** 新型コロナウイルス罹患者への差別や偏見などの風  
評被害について、町当局ではどのように認識され対策  
を講じているのか。また、学校ではどのように指導され  
ているのか。

**答** 和歌山県新型コロナウイルス感染症に係る誹謗中傷  
等対策に関する条例が施行され、その中には、市町  
村との連携、協力についてうたわれております。この条例に  
のっとり対策をしていきたいと考えている。  
学校では、うわさや風評被害が生じないよう保護者にも協

力をお願いしている。罹患したり濃厚接触になった子供た  
ちの気持ちに寄り添って支援していけるように、教育委員  
会からも指導していく。

**コロナ誹謗中傷**  
新型コロナウイルス感染症の感染者やその家族、  
医療従事者等に対する誹謗中傷は犯罪です。

それ **犯罪** です

**名を名乗ってその行為できますか？**

悪質なデマや誹謗中傷に対して、県は、止めるよう指導します。  
誹謗中傷は、懲役や罰金などの刑事罰が科されるだけでなく、  
被害者から損害賠償を請求されることもあります。

例えば…

- ・「〇〇店ではコロナに感染した従業員が働いている」といった書き込みやうわさをすれば、  
名誉毀損罪（3年以下の懲役、禁錮、50万円以下の罰金）
- ・「適切な感染対策をしていないから、〇〇病院はクラスターが発生した」と虚偽の情報を流せば、  
信用毀損罪（3年以下の懲役、50万円以下の罰金）
- ・「〇〇店で働いている従業員はコロナに感染している」とデマを流して、営業を妨害すれば、  
偽計業務妨害罪（3年以下の懲役、50万円以下の罰金）
- ・「クラスターになった〇〇施設はアホだから放火してやる」とインターネット上に書き込み、  
施設の業務を妨害すれば、威力業務妨害罪（3年以下の懲役、50万円以下の罰金）
- ・「コロナに感染した△△を殺害する」とインターネット上に書き込みをすれば、  
脅迫罪（2年以下の懲役、30万円以下の罰金）

になる場合があります

**その行為 あなたの人生も狂わせます！**

和歌山県

【質問方式】 一問一答

【答弁者】 教育長・福祉課長・総務課長・総務課副課長



# 正垣 耕平 議員

1. ふるさと納税について
2. 中学校部活動の地域移行について



YouTube QR コード

「一町一中学」  
を強みに!

## 中学校部活動の地域移行について

**問** 文科省スポーツ庁提言では「公立中学校で休日に行われてきた部活を原則として2023年度から3年間で地域移行するため、自治体に働きかける」としてありますが、この提言を受けて、当町の現時点の考え方は。

**答** 部活動の地域移行については、全国的にも中学校生徒数の減少の加速化や教員における休日の活動、競技経験のない指導が求められるなどの課題解決のため、以前からも議論されています。

上富田中学校には運動部や文化部も合わせて15の部活動があり、それぞれ教員の方々にご指導や引率の対応をいただいているところです。教員の負担軽減に加え、安全面や競技に係る専門的な指導環境を確保するために、本年度は国県の補助金を活用した部活動に係る外部指導員を2名配置しておりますが、教員を取り巻く環境改善にはまだまだ解決すべき課題があります。

加えて、この地域移行の大きな目的には、機会の確保と、地域の持続可能で多様なスポーツ環境を一体的に整備していくことと捉えております。上富田町には中学校が1校、また総合型地域スポーツクラブくちくまのクラブがあります。中学校やくちくまのクラブとは、本年5月から、まずは地域移行についての現状や課題を共有するための協議を始めたところであり、今後、国から示される方向性を確認しながら、目的を共有し、また役割を分担しながら、まずはできるところから取り組んでいきたいと考えています。

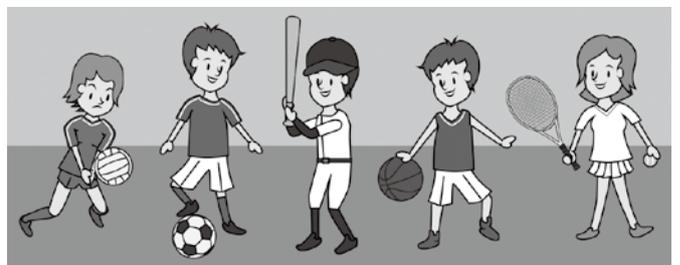


**問** 私はこの問題は、単に「部活動の今後の在り方を考える」というだけに留まらず、地域が一丸となり子供達の健全な成長を見守り、チャレンジする子供達にどこまで寄り添えるかを町全体で考えるチャンスだと捉えています。

地域移行という大まかな枠組みです。「地域」というその言葉に自分も含まれる、そう若い人が思えるか、これも重要かと思っています。機運が高まっている、このような状況が理想だと思います。機運の高まりやイメージの共有が先で、お金（予算）とか責任等々の問題はその後だと考えますがいかがか。

**町長** 地域移行全体を考えたとき、スポーツの町という観点から見れば、地域のスポーツ少年団を卒業した方が後に地域へ帰ってきて、その子供たちの指導者として教えていく、そういう形の指導者確保も地域移行の中で、重要な課題になってこようかと思っています。

今後、スポーツ少年団、現在行っている体育協会のほうにも協力をいただかなければいろんな指導もできないかと思っています。今後の対応についてスポーツ関係機関と十分協力しながらやっていきたいと考えています。



※この他、「ふるさと納税について」も質問をしています。

【質問方式】 一問一答

【答弁者】 町長・教育委員会事務局副局長



# 平田美穂 議員

## 1. 帯状疱疹の予防について

たいじょうほうしん



YouTube QR コード

コロナ禍でストレスから  
くる帯状疱疹（どうまき）  
が増えています！

### 帯状疱疹の予防について

**問**

高齢になりますと発症しやすい帯状疱疹という病気があります。体の片方に痛みが続き赤い発疹ができ、帯状に広がっていく症状で、人によって痛みの程度は違いますが、激しい痛みから日常生活に支障が生じたり、長年にわたって終わりの見えない痛みから鬱状態になる人もいわれています。この帯状疱疹は、水ぼうそうと同じウイルスが原因でおこる病気です。発症は50歳以上に多く80歳までに3人に1人が経験するそうです。加齢による免疫力低下は避けられず、今後の高齢化を考えますと患者数の増加が予想され、何らかの対策が必要です。予防方法のひとつにワクチン接種がありますが、わが町では任意接種のため、一万円以上の費用が必要で、これが接種への大きなハードルのひとつになっております。既に、お隣の田辺市でもワクチンへの助成を開始しております。そこで、現時点で任意接種となっている帯状疱疹のワクチン接種費用の助成を行うべきと考えますが、見解をお願いします。



**答**

帯状疱疹ワクチンについて、国の審議会において慎重な議論がなされている段階ではあります。

帯状疱疹は日本人成人の90%以上の方が原因となるウイルスが体内に潜伏しており、加齢、疲労、ストレスなどの免疫力低下により発症します。80歳までに3人に1人が発症し、帯状疱疹後、神経痛や顔面神経麻痺などの重い合併症により日常生活に支障を来す方もおられます。これらをワクチンで予防していくことは重要であると考えます。

ご質問の帯状疱疹ワクチン接種費用助成への町の見解ですが、町としましては、国においてワクチンの安全性等が確認でき定期接種導入時には実施することとなります。任意接種への助成につきましては、安全面等を含め慎重に考える必要があり、現時点では困難であると考えています。

【質問方式】一括

【答弁者】福祉課副課長



# 中井照恵 議員

1. 健康を守る  
ワクチン接種について
2. ごみの問題と  
リサイクル拠点について



YouTube QR コード

健康を守るために

## 健康を守るワクチン接種について

**問** 今年4月に子宮頸がんワクチンの積極的勧奨が再開されたが、ワクチン接種が定期接種となった直後の接種率と積極的勧奨が控えられていた数年間の接種状況はどうであったか。また、学校でも子宮頸がんのことや、ワクチン接種により感染予防が可能であることなどを学習することも大切ではないか。

**答** H25年度、定期接種となった直後の接種率は、対象者が200人、接種者は18人で約9%の方が接種されている。また、接種勧奨が控えられていた約9年間の接種状況は、対象者が785名、接種者25名で約3.2%の方が接種されている。

子宮頸がんについては、早い時期に学習することが大切だと考える。関係機関と連携を図りながら、学校現場での取組を推進していきたい。

**問** おたふく風邪のワクチン接種に対する費用助成への考えはどうか。費用対効果の面からも前向きに考えるべきでは。

**町長** 費用対効果については、ワクチン接種により、様々な費用負担を抑える効果はあると考えるが、ワクチン接種については国より安全性を認められることが最も重要と考えるため、現段階では助成は難しい。

(带状疱疹ワクチンの助成についても質問しています。)



## ごみの問題とリサイクル拠点について

**問** 町では、燃えるごみの袋以外は、大きいサイズしか袋を購入できない。以前質問した時「作成のコストやランニングコストのこともあるので研究していく」との答弁であったが、その後研究の経過は。

**答** 町のごみ処理はR3年度から大きく変更された。ごみ袋の「小」の作成の必要性は町としても感じている。袋の値段設定と受益者負担の一定の割合等を把握するには、満年度化した一定の経費の把握が必要と考える。満年度化されるR4年度の決算状況を把握できるR5年度以降で研究していきたい。

**問** 町では、回収拠点の時間帯の都合上、平日フルタイムで働いている方が段ボールをリサイクルに出しにくいといった状況があると考え。リサイクルに出しやすい環境づくりができないか。町の見解は。

**答** 回収事業は、地域の力を活用したボランティア的な活動であるため、交渉はしていくが、時間帯の延長等については運営主体があるため、その辺を理解していただきたい。



【質問方式】 一問一答

【答弁者】 町長・福祉課副課長・  
教育委員会事務局副局長・住民課長



# 吉本和広 議員

1. 指定ごみ袋の値下げ等について
2. 障害者雇用未達成への勧告について
3. 通学路について
4. 物価高騰に対応する学校給食への支援について



YouTube QR コード

**ゴミ袋は近隣市町村並みに！**

## 指定ごみ袋の値下げ等について

**問** 私は住民にアンケートを配布し約 220 通の返信がありました。その中で最も要望が多かったのがごみ袋の値下げで、半数近くの方が引下げを希望されていました。上富田町のごみの回収は指定袋による回収です。指定ごみ袋の値段は、全ての住民が使う公共料金のようなもので、価格を低く抑えている近隣市町村に合わせるべきです。町のごみ袋は、近隣市町村のほぼ 1.5 倍近く高い値段です。約 1,000 万円財政から投入すれば近隣市町村並みになります。町は、リサイクルを図るために分別回収を徹底し、使えるものの再利用を進め自然環境を守るために取り組んでいます。自然環境の保全に資する事業に使ってほしいという項目でふるさと納税された金額は、ほぼ使われず、約 1 億 2,470 万円が基金にたまっていきます。この基金を使うことも視野に入れ、財政から 1,000 万円予算に繰り入れ、近隣市町村並みの価格にすべきではないですか。

**答** 住民の皆様にも、ごみ処理にかかるコストや処理場の問題を意識していただき、減量化に努めていただきたいところでもございますので、一定の負担はしていただくべきだと考えております。価格に関しましては、ごみ処理の費用を勘案しながら近隣の市町村に合わせて研究していきたいと思っております。

**問** 住民の方から、特に夏場になると生ごみが傷み、異臭を出すので衛生面からも田辺市や白浜町、すさみ町のように可燃ごみに特小 15ℓ を作ってほしいと言われております。

**町長** 実際僕のところにも「小さい袋欲しいよ」という住民の方の意見も聞いております。それについても今後検討させていただきます。

**問** 不燃ごみの指定袋は大の 45ℓ しかありません。持ち運ぶのは高齢者には難しいです。アパートの方などは置いておく場所がないです。30ℓ を作るべきではありませんか。また、リサイクルする資源類拠点回収へ持っていく方も多く、年に 1 枚も使わないのでばら売りをしてほしいという声があります。町職員が配置されている役場や公民館などでばら売りをしてはどうでしょうか。

**答** 半分ぐらい入れて、出している人が多いと聞きます。ニーズに合わせた導入に向けて検討します。少ない枚数での販売や配布方法はないか研究します。

## 障害者雇用未達成への勧告について

**問** 上富田町には支援学校が 2 校もあり、今年もはまゆう支援学校に上富田中学校から 2 名が進学しています。私も支援学校で進路指導を 6 年間しました。支援学校には求人が来ません。企業を訪問して就職先を見つけなければなりません。本当に苦労しました。町は毎年、支援学校と就労支援センターから就職に限定しない実習を受け入れるべきです。担当者や打合せをすること、実際に実習することで町の職員さんは、障害者のできる仕事も分かると思います。多くの課で実習することで、できる仕事が見つかり、各課のできる仕事を組み合わせて横断的に障害者の仕事を用意できれば、より充実した雇用につながる可能性も生まれます。実習を受け入れるべきではありませんか。

**答** ご提案いただきました就職を前提としない 2、3 日の実習の受入れということですが、これにつきましては、町にとっても支援学校の生徒さんにとっても、双方にとってよい方法だと考えます。実施に向けて取り組んでいきたいと考えます。

## 物価高騰に対応する学校給食への支援について

**問** 臨時交付金を活用し、コロナ禍で高騰する食材費の増額分の負担を支援し、保護者負担を増やすことなく学校給食事業をおこなうことができると文科省より通知されています。コロナ禍で保護者の生活が大変になっている中で給食費の値上げをしないよう、臨時交付金を使って対応する必要があるのでは。

**答** 近隣市町では給食費の 1 食当たりの単価を 10 円から 20 円値上げしているところもありますが、上富田町は、1 食の単価の引上げは考えていません。

**町長** 質も落とさず、いいものをいい食材を使って子どもたちにいいものを食べてもらう。それについて、負担があれば財政のほうから負担をします。

※この他、「通学路について」も質問をしています。

**【質問方式】** 一問一答

**【答弁者】** 町長・住民課副課長・住民課長・総務課副課長・教育委員会事務局学校給食センター所長



# 家根谷美智子 議員

1. 小学校、中学校の  
自転車通学について
2. 不登校の児童・生徒への  
支援について



YouTube QR コード

子どもたちに  
安心・安全を！

## 小学校、中学校の自転車通学について

**問** 南紀の台からの急勾配について、急な坂道の場合の上りよりは自転車を押して走行するよう指導していると言われ今後においては安全対策を講じていきますと答弁しているが、現在も同じ認識でいいのか。

**答** 南紀の台地区からの急勾配の坂道につきましては引き続き検討していく部分と、交通安全教育において指導していく部分とがございます。小学生については降りて坂道を下るようという指導は引き続き行っております。中学校等は自転車の安全確保のための決まりを、スピードを落としながらと周りの状況をよく見ながら自分自身の安全面も含めてどうすべきかの判断ができるよう引き続き指導してまいりたいと思います。



**問** 学校以外のふだんのヘルメット着用もしやすいよう、また温暖化による夏の暑さ対策と首への負担改善も兼ねて、サイクリング用の軽量化タイプにすべきではないか。

**答** 中学生となると登下校時以外の着用率は大きく低下していることも現状として把握してございます。まずは安全を第一にということを押さえて、スポーツタイプのご提案ありました ヘルメットなどの導入についても、意見聴取や現状の把握、研究を進めながら前向きに検討してまいりたいと考えております。

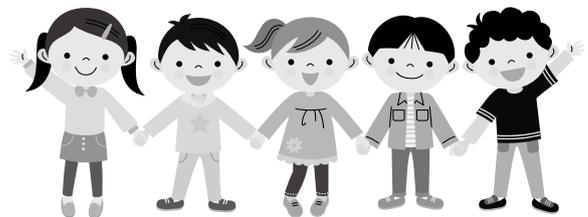
## 不登校の児童・生徒への支援について

**問** 家庭を取り巻く環境の変化だったり、コロナ禍で子育てに不安や悩みを抱える 家庭の増加も懸念されることから、継続的に寄り添っていくアウトリーチ型支援の必要性も高まっているが、具体的にどういった支援施策をされているのか。

**答** 担当が本人への声かけや保護者と児童・生徒の様子を共有するなど、きめ細かく対応するようしております。継続して休む場合には保護者と相談しながら負担を考慮しつつ家庭を訪問し面会して信頼関係を築きながら多様な学びの一つとして相談室 や適応指導教室への誘いなどを行うこともしています。

**問** 適応指導教室の場所移転について、町内にある公共施設の活用なども含め関係部署と連携を図りながら、法の趣旨に基づいて児童生徒に適切な支援ができるように引き続き取り組んでいくとも聞いているが、その後の進捗状況は。

**町長** 未来を託す子供たちが輝くまちづくりを実践としてやっていきますので、今後におきましても、その子供たちのまた意見も聞きながら、場所等については変更もかけていくような形で取り組んでまいりますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。



【質問方式】 一問一答

【答弁者】 町長・教育長・教育委員会事務局副局長

# 6月議会 会期(令和4年6月8日~22日) 15日間

6月定例会に町長から提出された案件は、条例関係1件、令和4年度一般会計・特別会計補正予算2件、指定管理者の物品購入契約の締結について1件、の計5件です。また、追加議案として、条例の一部改正が1件、工事請負契約の締結について1件、人事案件4件が上程され、いずれも原案どおり可決しました。

私はこう判断 (○賛成、×反対) *議長は採決に加わりません		井 溪 港 斗	栗 田 八 郎	平 田 美 穂	大 石 哲 雄	山 本 哲 也	正 垣 耕 平	家 根 谷 美 智 子	中 井 照 恵	吉 本 和 広	谷 端 清	松 井 孝 恵	檜 木 正 行	会 議 の 結 果
令和4年度 補正予算	特別会計 宅地造成	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	一般会計	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
条例改正	共同作業場設置条例	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	国民健康保険税条例	○	○	○	-	○	○	○	○	×	○	○	○	可決
人 事	人権擁護委員 (4名)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	適任
そ の 他	公の施設の指定管理者の指定、 物品購入契約の締結(電子黒板購入)、 工事請負契約の締結(朝小水泳プール建替)	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
意見書等	国民の祝日「海の日」の固定化を求める意見書	○	○	○	-	○	○	○	○	×	○	×	×	可決

## いろいろ やっています

### 紀州くちくまの熱中小学校へ

大人の社会塾人材育成事業費補助金として50万円を支出します。  
財源には**企業版ふるさと納税**が充てられます。

### 市ノ瀬キャンプ場 (mizugori キャンプ場)

(公の施設の指定管理者の指定)公募の上、指定管理者選定委員会で選定された、一般社団法人南紀ウェルネスツーリズム協議会を指定管理者とするもの。

令和4年7月1日から  
令和9年3月31日まで



### 企業版ふるさと納税とは

企業版ふるさと納税は、国が認定した自治体の地方創生のプロジェクトに対して企業が寄付を行った場合に税額が優遇される制度です。

令和3年度は570万円の寄付があり、サイクルツーリズム事業(400万円)、熱中小学校事業(110万円)、スポーツ観光事業(60万円)などに活用されました。

### ご存じですか?

### 事業者持続化支援金 (上富田町飲食・宿泊・サービス業等事業者支援金事業)

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、その事業活動に著しい支障を生じている事業者に対して、事業の継続を支え、雇用の維持を図るための支援金を交付します。(但し、交付には要件があります) \*事業者1回限り

- 1事業者に対し、30~200万円
- 申請期日 **令和4年9月30日(金)**
- 申請方法等については振興課まで

**人事案件** 12月末の任期満了に伴う、人権擁護委員の推薦につき議会の意見を求めることについて、「適任」とするもの

生馬 出水 精一 氏 (再任)  
朝来 檜木 正行 氏 (再任)  
市ノ瀬 宮本 勲 氏 (再任)  
朝来 幾島 浩恵 氏 (再任)



### 請願・意見書 国民の祝日「海の日」の7月20日への固定化を求める意見書

平成15年以降、ハッピーマンデー化により、7月の第3月曜日とされている「海の日」を、海の日制定の歴史的経緯等を踏まえ、国民が海の大切さを理解し、その恩恵に感謝し、海の安全及び環境保全について思いを馳せる機会とするためにも、当初の7月20日に固定化することを求めるもの

【総務文教常任委員会から提出】

## 委員会レポート

常任委員会は、定例会前等に開催され、所管する事務について町当局から説明を受ける他、現地視察などの調査を行っています。

### 総務文教常任委員会 調査報告

【調査日 令和4年5月30日、6月16日】  
《主な調査項目》

#### ●新型コロナウイルス感染症（経済）対策について

#### 商品券を支給

約1億3,200万円

【目的】消費喚起による事業所支援と町民の生活支援(物資や光熱水費)

【内容】町民1人あたり **8,000円支給**

支給額の内訳は、  
5,000円 +  
3,000円(水道料金3ヶ月分相当)です。



#### ●物品購入契約（電子黒板）の締結について

#### 学校の電子黒板を購入

約760万円

【概要】児童の学習意欲・理解力の向上と授業効率を高めるため、町内小中学校に対して電子黒板を段階的に導入 **合計20台分**

### 厚生建設常任委員会 調査報告

【調査日 令和4年5月31日】  
《主な調査項目》

#### ●予防接種事業関係

#### 子宮頸がん

#### ワクチンについて

再開・追加

【目的】子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス(HPV)感染を防ぐため。

【キャッチアップ対象】

積極的勧奨を差し控えている間に定期接種の対象であった7学年(平成9年4月2日～平成18年4月1日生まれ)

自主接種された方には  
償還を行います



#### ●令和4年度地域包括支援センターの事業について

#### 物忘れ相談

(認知症についての個別相談)

【内容】認知症看護認定看護師と地域包括支援センター職員による専門相談

新規事業

【回数】1日につき個別相談を3ケース、3日間実施

## 町内視察

今回、議会構成が変わり、新委員が加わって、初めての委員会となりましたので、所管事務に係る町内視察を行いました。

### 総務文教常任委員会



生馬地区にある、木質バイオマス発電所。年間総電量6800kw。地域林業の活性化が期待されます。また、職員14名の内、12名が地元からの雇用です。

この他にも、給食センターや上富田スポーツセンター(スポーツサロン、食育センター)を視察しています。



生馬公民館の耐震化工事。アスベストの除去や、避難所として使用できるように多目的室の新設や調理室の2階への移動等も行われています。

### 厚生建設常任委員会



上大中クリーンセンター、上富田町不燃物処理場の閉鎖に伴い、直接搬入の粗大ごみの受入れに対応するため、岩田地区(方鹿)に上富田町粗大ごみストックヤード(仮置場)を設置しています。実際の作業等を見学し、ごみ処理の現状について説明を受けました。



令和2年8月に発生した下鮎川の地滑り災害現場。現在、災害査定に向けて、国・県との協議を進めているところです。

この他、なのはな保育所や、道の駅くちくまの、生馬地区にある第1浄水場を視察しています。

北海道の

## 清水町議会より行政視察に!!

清水町では体育施設の建設を予定しており、「**スポーツ振興によるまちづくりについて**」、町振興課から、スポーツ施設の維持・管理・修繕の仕組み（町政に負担をかけない取組み）、団体・企業との関わり、指定管理者制度導入等についての説明を受けられました。

**Q** スポーツ施設の維持・管理・修繕の仕組みを教えてください。

**A** 指定管理料 3,200 万円内で維持管理を行っています。修繕も基本的には指定管理者が行いますが、30 万円を超えるものについては町が負担することになっています。



**Q** スポーツ施設を改修する際に、どのような補助事業を使ったことがありますか。また、スポーツ庁事業の導入例はあるのでしょうか。

**A** スポーツ振興くじ (toto) や日本サッカー協会、宝くじ助成事業、地方創生推進交付金事業などの補助事業を使ったことがあります。スポーツ庁の事業は導入したことがありません。

スポーツ振興の町  
かみとんだへ



**Q** 合宿対応等の宿泊施設はどのような状況でしょうか。

**A** 町内では、ホテル1軒、民宿4軒、簡易宿泊所1軒、すべて合わせても320名が宿泊できる施設があります。そこで、宿泊できない場合は、白浜町や田辺市の宿泊施設も利用しているのが現状です。指定管理者である一般社団法人南紀ウエルネスツーリズム協議会が旅行業を取得していますので、一括しての手配を行っています。





# 特集

# 町民インタビュー



西澤

延祥さん・郁恵さん

**Q** 上富田町に移住したきっかけは？

**A** 結婚当初、上富田町に2人で住める新築マンションがあったので京都府から移住してきました。

**Q** この町に住んでいて「いいねー」と思うところは？

**A** 上富田町近隣にはスーパーや銀行、病院もあり海も山も川も自然がたくさんある所がいいですね！

都会では少なくなってきた、ご近所付き合いが大切にされていて、みんな優しいしなぜか親しみやすい人ばかり！モノに溢れてる街

より、豊かな人が溢れてる町って凄いいと思います。

**Q** 疑問や不満に思うところはありますか？

**A** 小、中学校や習い事などのコミュニティの場が少ないのは子どもが少ないうからでしょうか？

子どもたちの学校以外の時間(遊び場や習い事)も選択肢があればいいなと思います。

## なんでもひとつ

両親や親戚も近くにいない私たちが沢山の方々が助けて下さり応援してもらえて、今ではまつ毛サロンのお店をオープンすることができ、毎日楽しくお仕事ができるのは有難いことです。上富田町は、人や自然、豊かさに溢れたすごく魅力的な町です。これからも皆さんと共にそれらを大切にしながら暮らしていきたい。また大きく立派なスポーツセンターもあり、人口も増えて子どもたちものびのび育つ、魅力的な町にどんどんなっていきたいです。(郁恵さん)



### 編集後記

議会だより9月号は、新しい委員3名が加わり作成しました。今回、特集記事や内容の提示の仕方など、初めての取り組みも多く模索しましたが、分かり易く、議会を身近に感じていただけるよう、今後も少しずつ改善していきたいと思います。皆さまからのご意見も是非お寄せ下さい。(家根谷)



町議会に関する情報は「議会ホームページ」へ



議会 YouTube QRコード

### 議会広報特別委員会

委員長	家根谷美智子
副委員長	井 深 港 斗
委員	栗田 八 郎
委員	平田 美 穂
委員	正 垣 耕 平
委員	中 井 照 恵